

KYT 研修会アンケート集計 (令和8年度)

1 本日の研修会はためになりましたか。

とてもためになった (27人 93.1%)

ためになった (2人 6.9%)

2 研修会で気づいたこと

- ◎ 自分だけでは発見できない気づきがたくさんありました。
- グループ活動は、はじめ緊張しましたが、とてもいい機会となり楽しかったです。
- お手本はとても助かりました。
- ステップ1から2への変化をもう少し分かりやすくかいてほしい。
- ◎ 危険予知トレーニングはとても大事なことだと思う。
- 意外と身近な所に危険があることを知った。
- 我が子も知らない子も、同じ声かけをしましょう。
- 危険を予測したり、対策を考えたりして、自分の視野のせまさを感じた。講師の人のアドバイスは目からうろこが落ちるようなもので、勉強になった。KYT力を向上させたいと思った。
- ◎ 身近なところに気をつけること、子どもたちと一緒に歩きながら確認できることに気づかされた
- 危険予知トレーニングを日頃からできることがたくさんあるなど気づかされた。
- ◎ 他地区の方々との意見交換できて良かったです。グループで意見を出し合い気付かない視点も発見できた。
- 普段気になっていることが分かり、共有できて、とても有意義であった。
- 例外の事例もあれば紹介してほしいと思いました。
- 皆さんの声かけ方法、危険予知が知れて良かった。自分の気付かない所がいっぱいありました。
- 身近な所に様々な危険が予測されることを学べ、命を守る行動を積極的にしていきたい。
- 日常の中にも危険がないか意識して生活すること、子どもにもその力をつけさせることが大切。
- 危険の発見だけでなく、大人が何をできるか、その取組を考えさせられる機会となった。①自助のために子に伝えていく、②公助、行政等に依頼して整備する、③共助、協力する、つながる 3視点の認識
- 子どもの通学路も意識して、ここ危険かもと思いながら過ごしたい。
- 研修の進め方、最初戸惑った。
- 写真からいろいろなリスクや対策について考えることができた。自分たちでできること、行政に伝えることなど整理して地域で協力して取り組みたい。
- みんなで共有しあうことの大切さを学び、子どもたちにも気付かせる訓練をする必要があると実感した
- 工場勤務だったので、KY、RKY、TBM等危険に関することはやってきたが、住んでいる地域、訪れた場所でも、よく配慮して子どもたちと暮らしていきたい。行政に相談することもやってみたい。
- 講師の先生の話がためになった。KYTを日頃から考えようと思う。
- 向陽校区では「親子で歩こう通学路」というのがあるのですが、改めて親子で歩いてどこが危険なのか知って教えることが大切だと思う。自分の住む町が安心で安全であることの大切さを学びました。
- 普段から通学路でもKYTのことを考えながら歩きたいと思った。

3 日頃、あいご会活動で困っていることや気になっていること

- 道路整備であいご会で困っていることが伝わらない。
- 保護者の協力を得るのが難しい。
- 年々会員数が減少していて、役員の負担が増えている。
- 活動が多くて大変ですが、がんばります。
- 子どもの数は減ってきているが、行事などは替わらず行われるので、保護者の負担が大きいです。
- PTAとの連携が難しい。
- 毎年新しい人があいご会員になるため、色々知っている人が少ない。いろんな人と話し合いができるようなことがあったらいいなあと思いました。
- ◎ 子どもたちも減り、あいご会に参加する世帯も減ってきており、寂しく感じます。
- 「こらおじさん」「こらおばさん」がいなくなったと痛感している。
- 子どもの加入が少なくなっているが、参加するとすごく楽しく活動している。大人の係や負担が理由で退会しているように感じます。もっと周りの大人に協力して子どもたちを育て見守りたい。
- 地域によっては、あいご活動が後退している所がある。親との交流が薄くなっているので、学校、町内会で何らかの交流の場を作り、参加することが大切である。
- 会社を辞めて、自営を始めたからこそ、あいご会に参加できました。
- あいご会のイメージが悪いと思う。入ってみると親も子ども楽しいのにもったいない。